

ベンチャー企業「ヒラソル・エナジー株式会社」との投資契約を締結

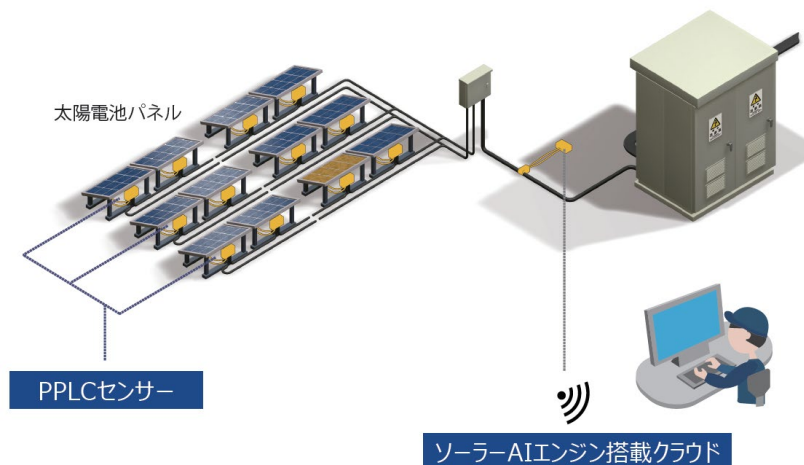
ーベンチャー投資第一弾として、太陽光発電に関連する企業に出資し「脱炭素」を加速ー

東急建設株式会社（社長：寺田光宏、以下当社）は、太陽光発電パネルを保守管理するAI/IoTプラットフォームを開発したベンチャー企業「ヒラソル・エナジー株式会社」（代表取締役：李旻）が行う第三者割当増資に応じ、投資契約を締結しました。

当社は、新たな成長機会の創出に向け、国内外のベンチャー企業を対象に50億円を上限とする出資枠を設定しており、「長期経営計画“To zero, from zero”」（※1）において定めた、3つの提供価値「脱炭素」「廃棄物ゼロ」「防災・減災」および競争優位の源泉とした「人材」「デジタル技術」の拡大に寄与し得る領域を対象として、機動的なベンチャー投資を行うこととしています（※2）。

今回の投資はその第一弾として、独自の電力線通信技術（※3）を活用し、太陽光発電設備をパネル単位で保守管理するAI/IoTプラットフォーム「PPLC-PV（※4）」を開発したヒラソル・エナジーに出資を行いました。

「PPLC-PV」は、太陽光パネルの電圧や温度などの情報を把握するAI/IoTプラットフォームです。パネルに取り付けたPPLCセンサーから収集した電圧や温度等のデータ解析を行う機能を有するため、発電設備の稼働状況をクラウド上で遠隔地からモニタリングすることができます。これにより、これまで課題とされてきた発電設備の保守点検に係るコストや手間の軽減に加え、データ解析で判明した不具合の検知・対応による発電量の最大化を実現することが可能となります。



【PPLC-PVの活用概念図】

今回の投資は、当社のRE100目標（※5）達成に向けた対応の加速やDXの推進等、3つの提供価値の一つ「脱炭素」および競争優位の源泉「デジタル技術」の拡大に寄与すると判断し実施したものです。今後も、国内外の有望なベンチャー企業に対し、直接あるいはベンチャーファンドを経由した出資を行い、建設業の枠を超えた新たな活動を展開してまいります。

<ヒラソル・エナジー株式会社について>

所在地	東京都文京区本郷7-3-1 (東京大学本郷キャンパス内)
代表取締役	李 旻 氏
資本金	63,784,750円
設立	2017年2月21日
ビジョン	「技術革新とDXで百年続く太陽光発電の実現を」
事業概要	太陽光発電設備をパネル単位で保守管理するAI/IoTプラットフォーム「PPLC-PV」を開発・保有し、当システムを用いることで、太陽光パネルに取り付けたセンサーから収集した電圧や温度等のデータ解析を行う。発電設備の稼働状況を遠隔モニタリングすることが可能となり、設備の保守点検に係る費用の低減や、データ解析により不具合を検知・対応することで発電量の最大化に寄与する。
当社とのシナジー	当社のRE100目標達成に向けた対応加速やDXの推進等、3つの提供価値「脱炭素」と、競争優位の源泉「デジタル技術」との親和性

<当社からの出資を希望する際の問合せ先> (※2)

東急建設株式会社 価値創造推進室 イノベーション推進部 藤田・関本
TEL 03-5466-5077

※1 「東急建設「長期経営計画 “To zero, from zero.”」の策定について」(2021.5.12)

<https://pdf.irpocket.com/C1720/eq9A/eSqS/qlbf.pdf>

※2 「国内外のベンチャー投資に向けた50億円の出資枠を設定」(2021.5.14)

https://www.tokyu-cnst.co.jp/topics/assets/20210514_Newsletter.pdf

※3 電力線通信技術：電力線を通信回線として利用する技術。

※4 P P L C - P V : A Pulse Power Line Communication for Series-Connected PV Monitoring の略。
太陽光パネルの直列接続線に、パルス状の電流を送り、当該電流を活用して、個別のパネルの電圧や温度などの情報を把握するIoTプラットフォーム。

※5 「RE100」へ加盟、2030年までに使用電力100%再エネ化(2021.3.30)

https://www.tokyu-cnst.co.jp/topics/assets/20210331_Newsletter.pdf

【ニュースレターに関する問合せ先】

経営戦略本部 経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ 西田

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: webmaster@tokyu-cnst.co.jp

以 上